

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 27 年度教育研究報告書

事業課題名	社会学特殊講義特別講師による授業の開講
代表者名	伊藤公雄
事業概要 (600 字程度)	<p>長年トップ企業の経営者として活躍されたおふたりを中心に、企業の中で活躍する人を講師に迎え、経済の中でのグローバル化と社会を講義する。 講義の内容は、企業の変化、企業を取り巻く経済社会の変化、人事の変化、CSR（企業の社会的責任）、アジアとの関わり、外国人労働者の採用などのトピックを扱う。</p> <p>コーディネーター 平井紀夫 元オムロン副社長 元京都大学監事 西川修己 元大和ハウス常務取締役</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>文学部・文学研究科においてはこれまであまり実施したことのない、京大文学部 OB の企業経営の経験者の協力によるオムニバス講義であり、本年度も、多くの留学生を含む学部生や大学院生の参加があった。</p> <p>企業組織の現状についての講義、コンプライアンス問題の解説、海外経験の豊富な中堅幹部の話、日本企業の国際戦略、CSR の現状と課題、女性労働の現在と今後の女性の活躍戦略、長く日本で働いた経験を持つ外国人の日本の企業組織論など、多様な側面から現代企業の組織問題が紹介された。</p> <p>毎回提出してもらったコミュニケーションカードを読んでも、多くの学生が、大学生活ではあまり経験することない現場の声が聞けるというものが多かった。こうした面でも、教育効果が極めて大きい授業であると思う。</p> <p>昨年までは、講師陣がやや高齢の男性の講師に偏り、企業経営や管理的立場からの企業組織論という面が強く、これから入社して活躍しようと授業参加している学生、院生にとっては、やや感覚のズレのようなものが見られたことも事実である。こうした反省から、本年は、できるだけ多様な人材による講義を組み立てるべく、女性講師や外国出身の講師を招くことにした。その結果、特に女性講師の講義や、外国人講師、中堅の海外事業部の責任者の話、企業の海外展開戦略などの話には、参加した学生から強い反応があったように感じている。</p> <p>企業組織とはこれまで講義という面ではほとんど関係を持たなかった文学部・文学研究科の講義としては貴重な講義枠であり、また、留学生を含む、学生・大学院生の評判も良い。今後とも、学生たちの要望に応えつつ、内容を豊富化させていきたい。</p>